

科目名	応用演技Ⅱ							年度	2025
英語科目名	Advanced Acting Ⅱ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	オーハシ ヨースケ		教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優・演出・演劇教育家	
【科目の目的】									
シアターゲームやインプロを繰り返し行うことで、表現者として必要な身体をつくる									
【科目の概要】									
インボディメント・エクササイズ ～身体性を深めるカラダ作り～ インボディメント(EMBODIMENT)の視点、すなわち心とカラダを一つに捉える視点から ドラマする力、演劇性を深かめる身体を練り上げるカラダ作りをする。									
【到達目標】									
相手を受け取る、言葉やイメージを受け取とれるカラダの感受能力をプロとしての俳優・声優、身体表現者の域に高める。 想いをリアルに身体で表現できる、象徴的な身体表現ができ声と動きとキャラクターを一体的に表現できる、ドラマを創る プロとしてのカラダのしなやかさと強度を身を高める									
【授業の注意点】									
フロアシューズなど上履き、ジャージ等体操着を着用。アリーナは他学科と共同使用なので使用上のルールを守る。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	積極的にチャレンジ することができる		チャレンジできる		チャレンジすることが 苦手である				
到達目標 B	様々なアイデアを 想像することができる		アイデアを想像で きる		想像するのが苦手であ る				
到達目標 C	状況に合わせて自由 に身体を動かすこと ができる		楽しく身体を動かす ことができる		身体を動かすことが 苦手である				
到達目標 D	柔軟に受け入れるこ とができる		受け入れることがで きる		受け入れることが苦 手である				
到達目標 E									
【教科書】									

ベーシックテキストを使用。必要に応じて印刷物を配布

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

授業での積極性、こちらが出す課題への適格なプレゼンテーション、エチュードの表現力等を採点していく。また、振り返りとしてレポートを提出してもらい、採点をする。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		応用演技Ⅱ				年度	2025
英語表記		Advanced Acting Ⅱ				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	重心	自分の重心を知る			グループワークで滝を表現する		
				フィジカルシアター			
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							

12							
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							